

## ③森鷗外ゆかりの地コース

明治の文豪、森鷗外。

素晴らしい才能を持ち、小説家、戯曲家、評論家、翻訳家、陸軍軍医といくつもの顔があります。

また夏目漱石との接点や文化人との交流からも人間鷗外の大きさを知ることができます。

このコースは鷗外が暮らし、学び、そぞろ歩き、そして作品の舞台としたゆかりの地をご紹介します。

【全行程2km、2時間】

※どなたにもご覧いただくため「鷗」を新字で記載してあります。



写真提供文京区

### 青年の散歩道

東京メトロ南北線「東大前」駅を出発し、小説『青年』の世界へのいざないから始まります。このあたりを主人公小泉純一が「東京方眼図」という鷗外が立案した地図を片手に知人を訪ねて歩いています。

#### ★東大農学部正門 弥生 1-1

重厚な金具が目をはくヒノキの門扉です。

ハチ公と言えば渋谷で有名ですが、こちらの弥生キャンパス内にもハチ公の銅像があります。

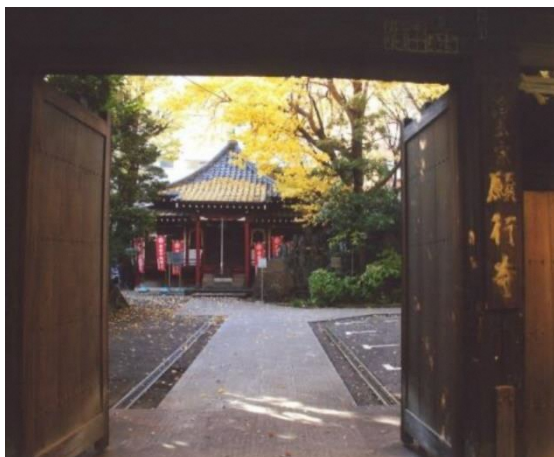
飼い主だった東京帝国大学農学部の上野博士に飛びつくハチ公の姿と嬉しそうにハチを見つめる博士の姿が愛情に溢れています。

鷗外は現・東京大学医学部を卒業して軍医になりました。



#### ★願行寺 既成山光明院 向丘 2-1-5

鷗外は細木香以サイキコウイという幕末の富豪商人の史伝の中で、この道をたどり願行寺の香以の墓を訪れています。



写真提供文京区



★東京聖テモテ教会 弥生 1-3-12

将来のエリートに布教することが重要だった関係で東大の周りには教会が多数あります。

『青年』の中にも「右は高等学校の外囲、左は出来たばかりの会堂で…」とこの教会が登場します。

※高等学校とは東大の前身である旧制第一高等学校



★S坂（新坂・権現坂）

東大野球グラウンドの北側を根津神社の前へ下る坂がS坂です。

『青年』のなかで「割合に幅の広い此坂はS字をぞんざいにかいたように屈曲して附いてゐる」とあります。これを読んだ旧制一高生がS坂とよんだので鷗外の命名になります。



## 根津神社 根津 1-28-9

『青年』にも描かれる根津神社は、江戸時代より徳川将軍家ゆかりの由緒ある神社で、戦災・震災を乗り越えた奇跡のパワースポットと言えます。

現在の社殿は5代将軍綱吉により造営され、本殿・拝殿・幣殿・楼門・唐門・透塀は国の重要文化財。

赤い千本鳥居が美しい乙女稲荷、将軍の<sup>えな</sup>袍衣塚など見所がたくさんあります。



写真：文京観光ガイドマップより



特筆すべきは森鷗外銘入り水栓台です。

陸軍軍医だった鷗外が日露戦争の戦利砲弾を奉納した時の台座が、水飲み台としてリサイクルされており裏面には「森林太郎」の刻字が確認できます。

鷗外や漱石が境内散歩の際に腰を下ろしたと言われている「文豪の石」はつつじ苑前にひっそりと鎮座している石のベンチです。





## 夏目漱石旧居跡 向丘 2-20-7



日本医科大学同窓会館の地に「猫の家」として知られた夏目漱石旧居跡があります。『吾輩は猫である』を執筆して一躍文壇に出た記念すべき家です。また漱石が入居する11年前に奇しくも鷗外が住み『文づかひ』等を執筆、ここから観潮楼に移りました。

## 藪下通りと団子坂

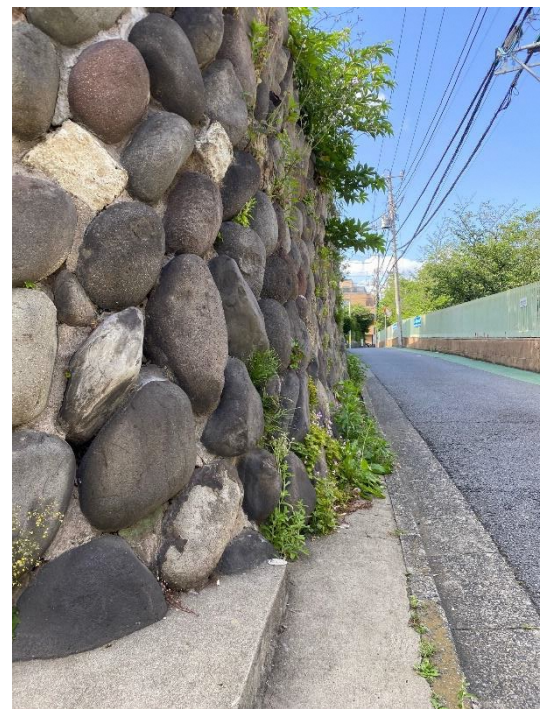
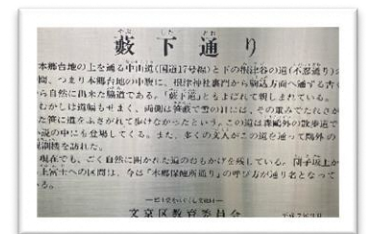
藪下通りは団子坂上にある観潮楼に続く小道。

鷗外の散歩道で、漱石・樋口一葉・石川啄木など多くの文人がこの道を通りました。

永井荷風は随筆『日和下駄』の中で「私は東京中の往来の中でこの道ほど興味ある處はないと思っている」と書いています。

本郷台地の縁辺に自然に開かれた道の面影を残しています。

団子坂はかつて菊人形の名所として栄え、鷗外は『青年』でもその活況をあらわしています。



「団子坂の図  
東京名所図会 本郷区之部 明治 40 年  
(文の京デジタル文庫)」

## 文京区立森鷗外記念館【観潮楼址】 千駄木 1-23-4

文京区千駄木は鷗外がその半生を過ごした地。

1892年30歳の時にこの地に住居を構え二階から東京湾が眺められたことにより鷗外が観潮楼と名付けたのです。

亡くなるまでここで過ごし『青年』『雁』『阿部一族』など代表作を執筆しました。建物は火災や戦災で焼失しましたが胸像・銀杏の木・門の石畳み・三人冗語の石は残り今も当時の姿を偲ぶことができます。

森鷗外記念館は生誕150年の2012年に開館しました。

ツアー参加の皆様には入場割引券を配布しますので、鷗外の実像に迫ってみませんか？



### 鷗外クイズ

- Q1 鷗外が留学に行った国は？
- Q2 鷗外はどのぐらいの数の作品を書いていた？
- Q3 鷗外という名前はペンネーム。本名は？

### こたえ

- A1 ドイツに軍医として4年間留学しました。
- A2 1200以上の作品を書きました。
- A3 森林太郎。

生まれは島根県津和野です。遺言の中に「余ハ石見人森林太郎トシテ死セント欲ス」とあります。

[ガイドツアーのお申し込みはこちら](#)

構成、文 文京区観光ガイド  
出典未記入の画像は筆者撮影



森鷗外記念館 HP より